

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

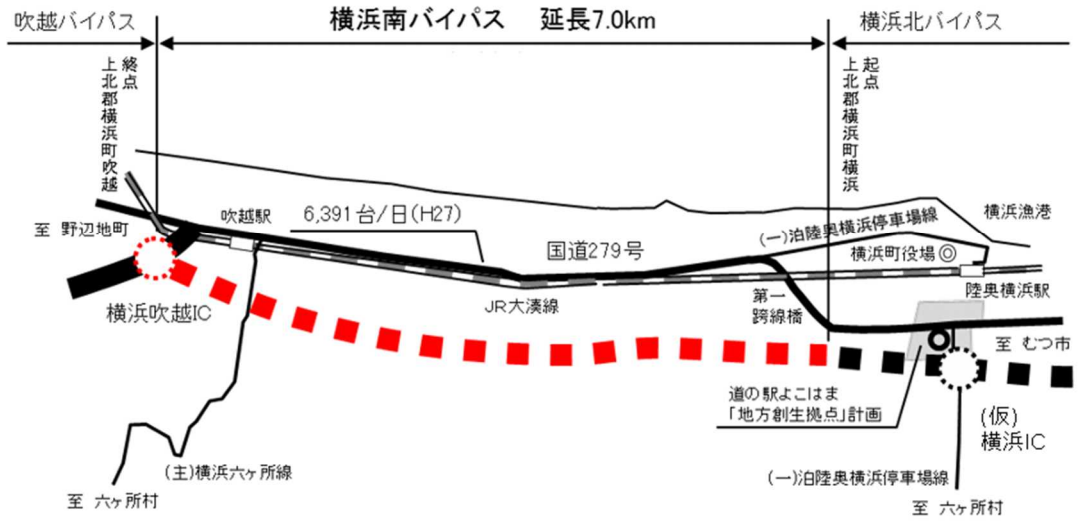
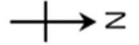
担当課：道路局 国道・技術課
 担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	地域高規格道路 下北半島縦貫道路 一般国道279号 横浜南バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	青森県
起終点	白：青森県上北郡横浜町横浜 至：青森県上北郡横浜町吹越			延長	7.0km
事業概要					
下北半島縦貫道路は、下北地方生活圏の中心都市むつ市と東北縦貫自動車道八戸線を結び、地域間連携の強化、下北地域における産業等の発展を支援する延長約70kmの地域高規格道路であり、横浜南バイパスは本道路の一部を形成する延長7.0kmの自動車専用道路によるバイパス事業である。					
H25年度事業化	H28年度都市計画決定	H27年度用地着手	H27年度工事着手		
全体事業費	174億円	事業進捗率	約86%	供用済延長	— km
計画交通量	7,800台/日				
費用対効果	B/C (事業全体) 1.1 (1.4) (残事業) 1.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 658/2,075億円 事業費：582/1,916億円 維持管理費：73/148億円 更新費：3.1/10億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 1,262/2,339億円 走行時間短縮便益：1,043/1,917億円 走行経費減少便益：159/285億円 交通事故減少便益：60/137億円	基準年 令和4年	
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C=1.1~1.3 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.8~2.0 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.1~1.2 (事業費±10%) 事業費：B/C=1.9~2.0 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.1~1.2 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=1.8~1.9 (事業期間±20%)					
事業の効果等					
①地域防災力の向上 ・豪雪等の自然災害等により通行止めとなる脆弱性を有する国道279号の代替路が形成され、第1次緊急輸送道路としての機能強化が図られる。					
②救急医療体制の強化 ・第三次救急医療施設(青森県立中央病院)への搬送時間短縮により、下北地域の救急医療体制の強化が図られる。					
関係する地方公共団体等の意見					
国道279号沿線首長、議会議長、商工団体等により構成される「下北半島振興促進協議会」(会長：むつ市長)及び「下北半島縦貫道路早期実現促進協議会」(会長：むつ商工会議所会頭)、民間の女性団体「下北未来塾」から、当該バイパスを含む下北半島縦貫道路の早期全線整備が求められている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約97%、事業進捗率約86%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
残る用地の取得を継続しており、令和5年7月で全ての土地収用手続きの完了を予定している。今後は早期完了を目指し、改良工事・舗装工事等を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
他工区との工程調整による建設発生土の有効利用や、新技術・新工法を積極的に活用すること等により、コスト縮減に努める。					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。				

事業概要図



下北半島縦貫道路 延長約70km



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。